



# R5 八鹿っ子

～ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成～

## 全国学力・学習状況調査の結果について

全国学力・学習状況調査は、児童の学力や学習状況を把握・分析し、今後の指導に生かすことを目的に実施されています。市全体の結果について11月の市広報に掲載されましたので、八鹿小学校の結果と今後の対策等についてお知らせします。

実施日:令和5年4月18日

対象:6年生

調査内容:教科に関する調査(国語・算数)、学習意欲・生活の諸側面等に関する質問

### 1 国語について

(1) 正答率について … 全国平均と同程度

(2) 正答率の高かった問題 (○)

- 日常よく使われる敬語を理解しているかどうかを見る問題
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかを見る問題。  
送り仮名に注意して、漢字を正しく使うことができるかどうかをみる問題  
⇒ 日々の繰り返し練習等により、言語に対する知識は身につけてきている

(3) 正答率の低かった問題 (▲)

- ▲ 話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えることができるかどうかをみる問題
- ▲ 文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる問題
- ▲ 情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解しているかどうかをみる問題
- ▲ 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題
- ▲ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題

(4) 今後の改善策

- ・ 常に文章に立ち返る指導で言語理解を深め、必要な箇所を見つける力をつける
- ・ 内容の大体を把握したり、要旨をまとめたりするなど文章全体をとらえる指導を充実させる
- ・ 自分の言葉で話す機会を多く設定する
- ・ 文字数等の条件が指定された作文の機会を日常的に取り入れる
- ・ 複数の情報を比べたり、必要な情報を選択したりする学習活動を設定する
- ・ テキスト等の“資料”だけでなく、設問そのもの(作文の条件等を含む)を正しく読み取る指導を充実させる

#### 出題された問題

(条件)

- 資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。
- 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。
- 八十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

四 相田さんは、「資料1」、「資料2」、「資料3」を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめようとしています。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
※◆の印から書きましょう。どちらの行を変えないで、続けて書きましょう。

国立教育政策研究所によれば「複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり書き表し方を工夫したりすることに課題がある。」と報告されており、本校児童の結果と一致します。先に示した設問においては、3つの資料から「運動と食事の両方についてわかったことを書くこと」等、3つの条件が示されており、これらの条件に沿わないと正答にはなりません。設問を正しく理解することも大きな課題です。

## 2 算数について

(1) 正答率について … 全国平均と同程度

(2) 正答率の高かった問題 (○)

○ 50×40 のような情報計算ができるかどうかをみる問題

⇒ 毎日5分程度の学習タイムでの計算問題練習への取組が正答率の高さへと繋がっている

○ 加法と乗法の計算混合した式を場面と関連づけて読み取ることができかどうかをみる問題

⇒ 図をかいたり式の意味を解き語ったりする経験の積み重ねが、正答率の高さへ繋がっている

(3) 正答率の低かった問題 (▲)

▲ 二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の求め方と答えを式や言葉を用いて記述できかどうかをみる問題

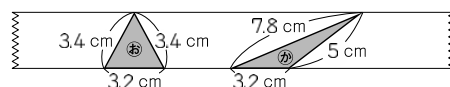
▲ 正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題

▲ 三角形について底辺と面積の関係をもとに面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できかどうかをみる問題

(4) 今後の改善策

- ・ 算数用語や定義を正しく理解させ、簡単な言葉で言い換えさせたり自分の言葉で語らせたりする
- ・ 引き続き、解き語りを進め、自分の考えをわかりやすく文章化していく過程を取り入れる
- ・ 具体物操作や指でなぞる等の活動を取り入れる
- ・ 文章問題では、低学年からキーワードをつかんで考える習慣を身につけさせる

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

出題された問題

## 3 質問紙について

(1) よい傾向が見られた項目

- 今住んでいる地域の行事に参加していること
- 学校に行くのは楽しいと思っていること

(2) 課題が見られた項目

- ▲ 全国や県と比べて、5年生までに受けた授業でのPC・タブレットなどのICT機器の使用頻度が低いこと
- ▲ 全国や県と比べて、学校の授業時間以外に1時間以上読書をしている児童の割合が少ないこと

(3) 今後の方策

- ・ ICT機器をスムーズに活用できる環境整備を進めるとともに、職員研修を推進し、職員のICT活用指導力の向上を図る
  - ・ 読書ボランティアによる読み聞かせや図書室の環境整備、お話レストランや図書委員会のイベント等、児童が読書に興味を持つきっかけづくりを引き続き充実させるとともに、図書購入の際に児童の読みたい本を積極的に取り入れる等、学級文庫をさらに充実させる工夫をし、児童が様々なジャンルの本にふれられるようにする。
- ☆ ご家庭でも、親子で読書をするなど、本に親しめる環境をつくっていただきますよう、願います。